



医療法人医誠会
児島中央病院



児島中央病院だより
2016.11号 Vol.119



今月の
写真

瀬戸大橋を一望できる祇園神社（倉敷市下津井）（地域医療連携室 野田 祥平）

特集 第8回ケアカフェこじま

- 認定看護師による研修会
- 消火技術訓練大会／オータムコンサート
- 回復期リハビリテーション病棟のご紹介
- 地域医療連携室だより／院内クラブ活動紹介（ソフトボール）／食材の底力「青みかん」
- 医療安全管理室コラム「インフルエンザ」／実習生インタビュー（リハビリテーション科）
- 11月診療予定表／当番医のお知らせ
- 琴浦ふれ愛・ボランティア通信

第8回

医療者・介護者・福祉者のための

ケアカフェ® こじま



テーマ

「精神症状のケア対応」

平成 28 年 9 月 30 日（金）18 時 30 分より、当院 2 階多目的ホールにて、多職種連携勉強会・交流会ケアカフェ第 8 回目を開催しました。今回の開催は過去最多の 60 名近い多職種の皆さま方にお越しいただき、長く続いた秋雨も吹き飛ばすくらいに熱気あふれる交流を深めることができました。

今回のテーマである「精神症状のケア対応」は、前回より主テーマにあがっている「認知症」の副流で、各グループでの活発なディスカッションが行われ、フルサイズで盛況のうちに終了することができました。

はじめにカフェマスターを務めた筆者から、前回の認知症に準え“抑うつ”や“不安”などの核症状の説明と BPSDへの対応の原則の紹介をさせていただきました。その後、今回のゲストスピーカーとして、あずま会倉敷病院 地域医療連携室主任 (PSW) 平岡憲一氏に「精神症状のケア対応」と題して話題提供いただき、精神科病院の現状、認知症とその周辺症状などについて、患者推移などのデータや実際の事例を織り交ぜてわかりやすくレクチャーいただきました。

テーブルセッションでは、「認知症の周辺症状と精神症状の違いを知ることで関わり合いの中でのケア対応に生かすことができる」、「精神的症状の段階的特徴についてもっと学びたい」、「精神症状を抑制するための投薬にはコントロールが必要不可欠」、「社会生活の中での精神的ケアは“生活のし辛さ”に着目する」、「精神的ケアに関わる際

は多職種の協力も必要」「発達障がいがベースにあるため成育歴などの情報収集も大切」、「認知症と同様に、ケースバイケースでの臨機応変な関わりと継続的な見守り支援を地域全体で支える体制作りが急務」などなど、多職種の実務者より多くの意見が繰り広げられました。



▲ゲストスピーカーの
平岡 憲一氏

【職種別参加者数】

60名（院外 46名、院内 14名）

【職種別】

MSW・PSW・相談員 10名、ケアマネ 11名、
保健師・看護師 17名、PT2名、OT2名、
薬剤師 1名、介護福祉士・介護職 4名、
管理栄養士 1名、
診療情報管理士・その他事務職 12名



各テーブルごとに多くの意見や疑問・質問も繰り広げられ、最後にテーブルごとの意見・感想を全体でシェアリングしました。恒例となった参加者全員による集合写真もバッチリ納まり、各々の繋がりを称え合うことができました。ご参加いただいた皆様、関係各位のご理解とご協力に厚く御礼申



し上げます。

今後も地域の多職種の皆さんとより良い円滑な連携・協働を進め、さらなる発展・充実を目指した企画運営を行ってまいりますので、次回多くの方にご参加いただきますよう宜しくお願ひします。

(地域医療連携室係長 安田 浩二)



▲第8回ケアカフェこじま 参加者全員で恒例の記念撮影



認定看護師によるスキンケア研修会

認定看護師による 心不全管理と酸素吸入、皮膚トラブルスキンケア研修会

平成28年10月14日(金)17時15分より当院2階多目的ホールにて、高石藤井心臓血管病院より慢性心不全看護認定看護師：有馬純氏、医誠会病院より皮膚・排泄ケア認定看護師：濱元佳江氏の2人の認定看護師を講師としてお招きし院内全職員および近隣の医療に従事されている職員の方法を対象とした「認定看護師による心不全管理と酸素吸入、皮膚トラブルスキンケア」の研修会が行われました。

循環器における専門分野として、平成24年度より慢性心不全看護認定看護師が誕生し現在全国に300名程度の慢性心不全看護認定看護師が誕生しています。

この度、慢性心不全看護認定看護師第2期生となる有馬純氏から心不全の病態生理・呼吸困難のメカニズム・生活における注意事項や指導等を分かりやすく解説していただきました。短時間の講義ではありましたが講義後のアンケートには「心不全の復習が出来また新たな知識を得ることができた」「個々の生活因子・体重管理(増減)の重要性を知ることができた」などの多くの意見がよせられました。

また皮膚・排泄ケア認定看護師として10年以上経験している濱元佳江氏からは摩擦・ズレによって皮膚が裂けて生じる真皮深層までの損傷＝スキンーテア(皮膚裂傷)の発生時の状況(場面)・発生部位・予防について詳しく解説があり多くの人から「高齢者の皮膚の傷つきやすさに驚いた」「握るだけで皮膚が裂けてしまうことを始めて知った」「レッグカバー・アームカバーの有効利用方法を知ることができた」などの驚きの意見が多くみられました。

短時間ではありますが、今回他施設から初めて講師をお招きしての研修会ということで講義に参加された方々からは、今回の研修会に参加し「知識の無い人にも伝えていきたい」「家族にも情報提供していきたい」など多くの人に伝えたいという意見がよせられました。

今後も要望があれば第2回、3回と認定看護師による研修会を企画していきたいと思います。

(外来主任看護師 鈴木 多美恵)



回復期リハビリテーション病棟のご紹介

回復期リハビリテーション病棟では 1 階リハビリセンター内でのリハビリだけではなく、ベッドサイドからのリハビリにも対応しており、急性期医療機関で治療を終えた後、元々の生活環境に近づけるため、主にリハビリをメインとした継続療養を行う病棟です。

各病室は車椅子でもゆったりと快適に過ごせるよう十分なスペースを備えており、浴室やお手洗いは退院後の家庭生活をイメージできるよう、安全性を考慮した上であえてバリアフリー設備の使用を控えています。一般的な社会に近い状況の中でリハビリを行うことによって一日でも早い自宅退院や社会復帰がよりスムーズにできるよう工夫をしています。



私たちは、患者さんやそのご家族のニーズに合わせた退院が実現できるよう医師、看護師、医療ソーシャルワーカー(MSW)、入退院コーディネーター(事務)、介護支援専門員(ケアマネジャー)などと定期的にカンファレンスを行い、患者さんの退院支援をお手伝いさせていただいています。入院中、退院後の療養に関するご相談などがございましたらお気軽にお問い合わせください。

(回復期リハビリテーション病棟 医長 古谷 保)(回復期リハビリテーション病棟 師長 豊良 势津子)

(地域医療連携室副師長 退院支援看護師 川原 尚子)(地域医療連携室係長 医療ソーシャルワーカー 安田 浩二)

当院の特色・特徴

- 回復期リハビリテーション病棟(43床)
- 365日リハビリテーション実施(休日も可)
- PT(理学療法士)12名、
OT(作業療法士)10名、
ST(言語聴覚士)2名を擁したプログラム管理体制
- 転院当日よりリハビリスタート可
- リハビリは患者担当制(※代診あり)
- フロアに機能訓練室、談話室(食事可能)を併置
- 自宅に近い状態で福祉用具利用が可能
- 多職種協働での退院前の家庭訪問により、在宅生活上の生活環境のアドバイスを実施
- 介護保険サービス利用に関するカンファレンス実施
- JR 児島駅より徒歩5分程度の交通アクセス



医療安全管理室コラム

冬はインフルエンザやノロウイルスなどいろいろな感染症が話題となります。今回はインフルエンザについてお話しします。「インフルエンザ」は、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴です。1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱（通常38°C以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過をとります。インフルエンザと風邪の違いを表に示しました。特徴的なのは症状が急激に出現し全身に及ぶことです。通常インフルエンザの診断はウイルスを検出するキットを使用します。検査を行う時期はインフルエンザ発症後12～24時間経過後実施するのが頃合いでしょう。しかし、抗インフルエンザ薬が有効なのはインフルエンザの症状が出てから48時間以内といわれています。タイミングをみはからって医療機関を受診しましょう。（医療安産管理室 感染管理専従師長 藤森 優子）

	風邪（かぜ）	インフルエンザ
発症時期	一年を通じて散発的	冬場に流行
主な病状	上気道症状	全身症状
病状の進行	緩徐（ゆっくり）	急激
発熱	一般に微熱（37～38°C）	高熱（38°C以上）
主症状（発熱以外）	・くしゃみ ・喉の痛み ・鼻水、鼻づまり	・咳、喉の痛み、鼻水 ・全身倦怠感、食欲不振 ・関節痛、筋肉痛、頭痛
原因ウイルス	・ライノウイルス ・コロナウイルス ・アデノウイルス など	・インフルエンザウイルス



作業療法士(OT) 実習生にインタビューしました！



実習では、作業療法士の方々のリハビリの様子を見学し、対象者の方一人一人に対し、何を目的としてどのような治療を展開しているか、また他職種のスタッフとカンファレンスを通してどのような情報交換を行っているか知りました。患者さん・ご家族の方が障害によって生じた生活の不安に寄り添い、退院以降もできる限り生活に満足できるようにその人それぞれに必要な治療を行い、その後の自宅での生活場面でもフォローすることができる作業療法士になりたいと思っています。

実習は中盤に差し掛かっていますが今後も引き続き宜しくお願ひ致します。

（専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ作業療法士学科3年 藤田 康平）

患者さんへの配慮などコミュニケーションを通じて真面目に実習に取り組む姿勢が将来的に頼もしくもあります。当院では、年間を通じて学生に対するリハビリテーションの臨床実習を随時お受けしています。

（リハビリテーション科主任(OT) 林 国男）



琴浦ふれ愛・ボランティア通信

10月26日（水）当院多目的ホールにてボランティアグループ「琴浦ふれ愛」の皆さんにお越しいただきレクリエーションの一環として、入院患者さんと一緒に毎月恒例の「カレンダー作り」をしました。

10月のテーマは「七五三」。参加された方々はボランティアの皆さんの協力をいただきながら各自思い思いの色彩を考えながらカレンダー作りを楽まれていました。

（地域医療連携室 広報・渉外担当 野田祥平）





消火技術訓練大会に参加

平成28年9月30日（金曜日）、倉敷市尾原の消防グランドで開催された第28回消火技術訓練大会に当院代表として参加しました。今大会参加により当院としては連続出場20回目の節目となる輝かしい賞を頂きました。

同大会は児島地区をはじめ倉敷地区・玉島地区の事業所から約30チームが出場し、万一の火災発生時に迅速で的確な初期消火活動ができるよう消火器の基本的な取り扱いと操作技術を競うもので、平成元年から開かれています。



当院は今年度入職した男性チームで参加しました。大会に向けた訓練は8月上旬から始め、炎天下の屋外訓練（一連の消火動作を的確に繰り返し練習）を行ってきました。はじめは、一連の動作が全くできない、ペアとなる二人のリズムが合わないなど、大会に出場できる状態ではありませんでした。しかし、児島消防署職員の方々の丁寧かつ熱心なご指導のおかげにより、大会では他のチームにも引けをとらない状態に成長できたと自負しています。

大会当日は、各事業所の応援や消防関係者など100名近くの方々が集結し、競技が始まると迅速かつ的確な消火作業が順次繰り広げられ、それまで静まり返っていた会場は緊張感に包まれていました。約40秒の消火動作が一瞬の様に過ぎ、緊張で足が震え、心臓の鼓動が尋常ではないくらい大きく聞こえたように覚えていますが、競技終了後には児島消防署の方々からお褒めの言葉をいただきました。

入賞とはならず結果を残すことができませんでしたが、それ以上に今大会に出場させて頂けたこと、児島消防署の職員の皆さまに励まされ熱心に指導していただいたこと、ペアとして最後まで協力してくれたことに深く感謝の意を表し、今後に生かしていくようにさらに励みたいと感じました。

（リハビリテーション科 速水 将・樋口 遼典）



オータムコンサート2016を開催



10月22日（土）午後2時から、当院多目的ホールにおいて院内コンサート“山本まさよし雅敬氏によるフォークギター弾き語り”を開催いたしました。入院患者さん、ご家族はじめ、病院関係者ら総勢約36名の方々にお越しいただき、盛況にて開催いたしました。

「かえり船」、「赤いランプの終列車」、「リンゴ村から」など懐かしの唱歌から始まり、オフコースの名曲「愛をとめないで」、アリストの人気曲「冬の稻妻」などのフォーク・ニューミュージックなども披露いただきました。なかにはベッドのまま会場にお越しいただき、歌詞を口ずさみ手拍子をする患者さんもおられました。フィナーレは「上を向いて歩こう」で会場全員で恒例の大合唱となりました。山本氏にはアンコール曲も含め全15曲を披露していただき、素敵なおコンサートになりました。皆さんにとっても耳心地の良いひとときでした。今回のコンサートでも、ボランティアグループ「ふれ愛」の皆様のお力添えいただき、また関係者の方々にも広くご尽力いただいたおかげだと感謝しております。

次回はクリスマスコンサートを12月3日（土）に開催予定しておりますので、皆さま、ぜひともご期待のうえ、ご来場くださいますようお待ちしております。

（地域医療連携室 広報・渉外担当 友定 愛）





地域医療連携室だより

「わが街健康プロジェクト。」第13回講演会が11月29日(火)に倉敷市民会館にて開催されます。当プロジェクトの取り組みに対して、①医療機関と上手に付き合う、②病気の予防と健康維持、③倉敷をもっと好きになる、というテーマをあげて活動しています。

講演内容は、「受けていますか?年に一回カラダのメンテナンス“けんしん”」、「もっと知ろう、乳がんについて」となっています。講演会の他にも、血圧・血糖測定・骨密度測定・脳トレなどの健やかブース、リハビリ体操もありますのでお気軽にご参加下さい。

(地域医療連携室 広報・涉外担当 野田 祥平)

The poster is for the 13th Community Health Project Lecture, held on November 29, 2016, from 14:00 to 15:50 at the Kurashiki City Gymnasium. It features two speakers: Mr. Kuniyuki Ueda and Mr. Toshiaki Nakanishi. It also includes information about simultaneous events like a health check-up booth and a breast cancer awareness booth.



クラブ活動紹介(ソフトボールクラブ編)

当院では福利厚生の一環として、ソフトボール、バレー、生花、園芸などのクラブ活動を行っています。

先般、10月16日(日)セレマ杯病院対抗ソフトボール大会(於岡東浄化センター)にチームで参加しました。

フルメンバーではありませんでしたが、戦績としては1勝1敗の結果でした。練習時間は充分ではありませんが、来年は更に実力につけて大会に臨みたいと思います。

(事務局総務課)



【戦績結果】

親 善 試 合

1回戦 児島中央病院 0 – 7 岡山県精神科医療センター

敗者戦 児島中央病院 8 – 0 岡山東部脳神経外科病院

児島中央病院 9 – 1 慈圭病院



青みかん

青みかんには、漢方薬の陳皮の主成分である「ヘスペリジン」が豊富に含まれています。「ヘスペリジン」は柑橘類の果肉よりも皮や白いすじに多く含まれており、完熟するにつれ減少する為、特に青みかんがオススメです。

主な働きとして血中LDLコレステロールの低下やビタミンCの働きを補強する作用がある為、コラーゲン生成を促進し血流改善にも効果があります。

(栄養管理科)

外来診療予定表（11月）

診療科	診療時間		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
内科	午前	☆	山本真也	井関裕義 (禁煙外来)	大貫敬三	鏡原康介	大貫敬三	井関裕義
		☆	木村泰彦		井関裕義		山本真也	
	午後	☆	鏡原康介	木村泰彦	山本真也	木村泰彦		
	夜診	18:00～20:00	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	
糖尿病外来 (内科と併診)	午前	☆						中山富雄
	午後	☆						中山富雄
呼吸器内科	午前	☆		阿部公亮		池田征樹		非常勤医師
胃腸内科	午前	☆	大貫敬三					
※① 循環器内科	午前	☆	古山輝将 (9:00～12:00)		鏡原康介	岡本公志	玉田智子 (9:00～11:30)	循環器内科医師 第1・3
	午後	☆	古山輝将 (13:30～16:30)		鏡原康介	岡本公志 (13:30～16:30)		
総合診(内科系)	午前	☆				古谷保		
小児科	午前	☆	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和
	午後	13:30～14:30	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	◎	予防接種 アレルギー 乳幼児健診		予防接種 アレルギー 乳幼児健診	予防接種 アレルギー 乳幼児健診
	午後夜診	15:30～20:00	中島英和		中島英和		中島英和	中島英和 (14:30～17:00)
外科	午前	☆	宮本善文	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸 (8:30～10:00)	宮本善文	宮本善文	院長 田邊秀幸
	夜診	18:00～20:00	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	外科系医師	
※② 整形外科	午前	☆	加川明彦		加川明彦		加川明彦	加川明彦 第2・4
	午後	13:30～16:30	加川明彦	渡邊良	加川明彦		加川明彦	
脳神経外科 脳卒中科	午前	☆	木村知一郎	木村知一郎 (8:30～10:00)	木村知一郎		木村知一郎 (第3金 8:30～10:00)	
脳卒中科	午前	9:00～11:30				植村順一		
耳鼻 いんこう科	午前	☆	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	
	午後	14:30～17:00	東川康彦			東川康彦	東川康彦	
形成 美容外科	午後	14:00～17:00						宗内巖 第1・3
皮膚科	午前	9:30～12:00	桑原千晶			山本佳子		
泌尿器科	午前	10:00～12:00						非常勤医師
婦人科	午後	15:00～17:00				非常勤医師 第2・3 (第3木 14:00～16:00)		
放射線科	午前	☆			小國達郎	小國達郎		
	午後	☆			小國達郎	小國達郎		
※③ 歯科 歯科口腔外科	午前	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・猿山	猿山・米満	田中・仲田	猿山・田中
	午後	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・猿山	山本・米満	田中・仲田	田中輝
	夜診	18:00～20:00	猿山雅典		田中輝		田中輝	
健診 (予約のみ)	午前	☆	東良平	藤井守	小國達郎	小國達郎	東良平	佐藤暢
	午後	13:30～16:00	東良平	藤井守	小國達郎	婦人科健診 のみ	東良平	

※①…循環器内科は月・水・木・金・第1 土曜日は予約制となります。

※②…整形外科の診療(午後診)は手術のため、急遽休診となる場合があります。

※③…歯科の受付時間は各日ともに診療終了時刻の1時間前となります。

◎…予防接種・乳幼児健診・アレルギー・検査日(13:30～17:00)

☆…午前 8:30～12:00・午後 13:30～17:00

児島中央病院だより

平成28年11月1日発行(毎月発行)

発行責任者: 田邊秀幸

編集責任者: 山田達也

地域医療連携室

TEL (086)473-7815

FAX (086)473-7816

当番医の
お知らせ

11月3日(木)、11月20日(日)は、地区の当番医です。



医療法人医誠会
児島中央病院

〒711-0912 倉敷市児島小川町3685 番地

代表 (086) 472-1611 FAX (086)474-3148

<http://www.kojimach.or.jp>